

自動車内装用 抗ウイルス・抗菌コーティング剤

新世代ペイントテクノロジー
[プロテクトン]

抗ウイルス
抗菌

プロテクトン

PROTECTON®

カーインテリア VKコート



安心な車内で安全運転

抗ウイルス・抗菌・消臭効果

可視光応答型ハイブリッド光触媒
酸化チタンと金属イオンの効果を併せ持った
可視光応答型ハイブリッド光触媒

高外観

光触媒粒子の均一分散技術
基材劣化抑制技術
スプレー塗布適正

高耐久・持続性

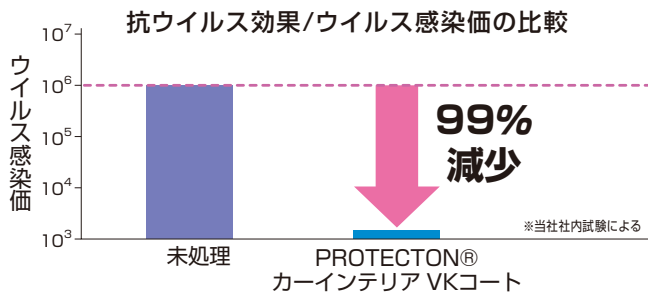
幅広い基材への固定化技術
約1年間の効果持続 ※当社社内試験による

※すべてのウイルスや菌あるいは特定のウイルスや菌に対する効果を保証するものではありません。また、病気の予防や治療効果を示すものではありません。
※空気中のウイルスに対する効果や、感染予防効果を示すものではありません。
※被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により性能に差異が生じることがあります。また、被塗物の使用条件によって効果の持続性に差異が生じることがあります。

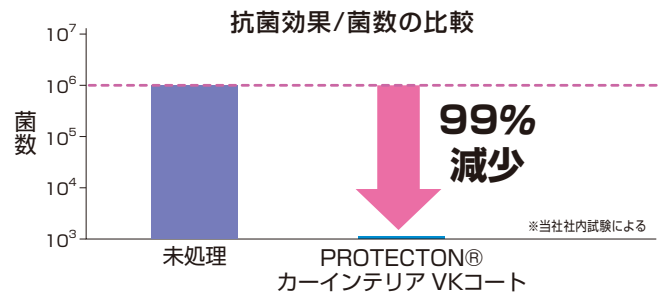
※写真はイメージです

抗ウイルス・抗菌性

可視光応答型ハイブリッド光触媒により、表面に付着したウイルスや菌を抑制する機能を発現します。



【抗ウイルス試験条件】
JIS R 1756 に準拠し、塗膜試験片にウイルスを滴下し、照度 500lx で 4 時間照射後のウイルス感染価を測定。
ウイルス種：バクテリアファージ Q_B

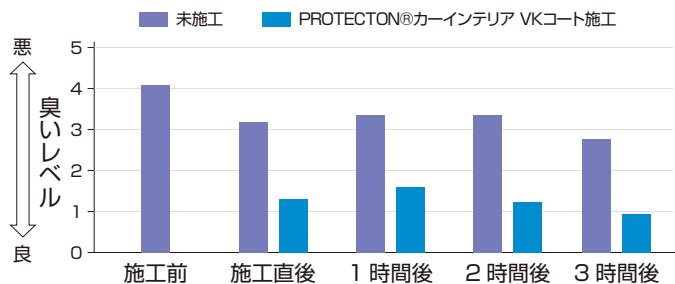


【抗菌試験条件】
JIS Z 2801 に準拠し、塗膜試験片に菌液を滴下し、24 時間後の生菌数を測定。
ウイルス種：黄色ブドウ球菌

消臭効果

※消臭効果は個人差があります。

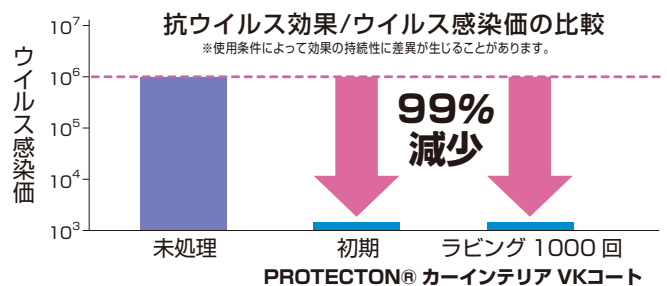
可視光応答型ハイブリッド光触媒により、消臭効果を発現します。



【消臭効果社内試験条件】
たばこの臭いを染み込ませた布を車内に設置。30 分間窓を開けた状態で、本製品を施工した後の臭いレベルを官能評価にて実施。

耐久性・持続性 (1年相当)

無機・有機バインダーの固定化技術により、抗ウイルス効果を持続します。



【抗ウイルス試験条件】
JIS R 1756 に準拠し、塗膜試験片にウイルスを滴下し、照度 500lx で 4 時間照射後のウイルス感染価を測定。
ウイルス種：バクテリアファージ Q_B
※ラビング回数は週3回×清掃拭き回数6回×52週施工面を爪を立ててクロスで強くこする事を想定した回数
500g荷重×1000回 摩耗子:ネル

■ 製品仕様

品名	PROTECTON® カーインテリア VKコート
成分	エタノール、イソプロパノール、精製水、可視光応答型ハイブリッド光触媒、固定化剤、光安定剤、金属錯体
液性	弱アルカリ性
内容量	1.03L
製造元	日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社

■ 特長

可視光応答型ハイブリッド光触媒、および分散・固定化剤により、
 ・車内での実使用環境において高い耐久性を有します。
 ・コーティングによる車内の大きな外観変化はございません。
 ※全てのウイルスや菌あるいは特定のウイルスや菌に効果を保証するものではありません。
 ※実際の使用環境によって効果の程度や持続期間は異なります。

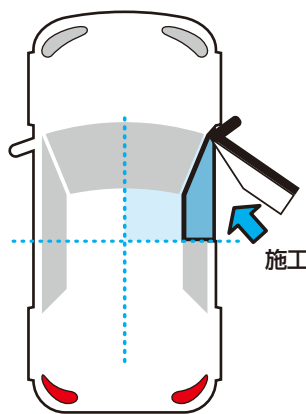
■ 用途

自家用車・タクシー・レンタカーなどの抗ウイルス・抗菌対策が求められる車内装部材に最適です。
 ・シート・天井・ステアリング・スイッチ類・シートベルト・シフトノブ・ダッシュボードなど

■ 標準塗装仕様

スプレーガン口径	エア圧(手元)	吐出量	ガン距離	塗装回数
1.3mm	0.01MPa~0.025MPa	1回転	30cm	2~3回

※アネスト岩田 WIDER1-13H2G(口径1.3mm、重力式)使用時の条件



- カーナビ画面やカメラセンサー等電子機器をマスキングテープで養生し、窓は全て開けた状態にしてください。
- 車内を4分割して塗装を行います。(4ドア/2列シート車両、使用量=約100g)
- ドアを開け、開けたドアや座席シート、ダッシュボード、天井、センターコンソールなどを1区画塗装回数3往復(80秒)を目安に塗装します。パターンを1/2重ね、ガン速度は約1m/秒を目安に全体を均一にムラなくダスト吹きイメージで塗装します。
- 塗装終了後、ドアを閉め、同じ要領で残り3区画を塗装します。

※詳しくは施工仕様書をご確認のうえ、施工してください。



使用上の注意事項

- ・換気の良い場所でお使いください。気分が悪くなった場合は、通気の良い場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- ・アルコール過敏症や皮膚の弱い方が使用される場合には、肌荒れ等にご注意ください。
- ・ミストを吸入しないようにしてください。呼吸器疾患の方は十分に注意してご使用ください。
- ・必要に応じて保護めがね、保護手袋を着用し、直接皮膚に触れないように注意してください。もし触れた場合、布等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗ってください。炎症が生じた場合は、医師の診察を受けてください。
- ・目に入らないよう注意してください。万が一眼に入った場合は水で数分間注意深く洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・万が一飲み込んだ場合は大量の水を飲ませて、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・気温または躯体温度が5℃以上、35℃以下を保てない場合や湿度80%以上での塗装は避けてください。
- ・施工時はエンジンを切り、直射日光を避け、炎や火気の近くで使用しないでください。
- ・人体やペットなどの生き物や食品・食器など経口摂取の懸念があるものに向けてスプレーしないでください。
- ・カーナビ、TV画面や運転支援システムのカメラセンサー等はマスキングテープ、養生テープ等でカバーし、塗装しないでください。
- ・極端に暑い場所や氷点下の寒い場所での保管を避け、直射日光の当たらない涼しいところに保管してください。使用後はすぐに蓋を閉めて、同様に冷暗所に保管してください。
- ・濃色系の被塗物へ塗布する場合は、目立たない部分でテストしてから塗装してください。また、素材の変質や白化を防ぐため、被塗物がコーティング液で濡れるような状態は避けてください。必要に応じて養生をお願いいたします。
- ・塗装面が水で濡れている場合は塗装を避け、乾いた布で拭き取って塗装面を乾いた状態にしてから塗装してください。
- ・塗装面が濡れていると、塗装した際に塗りムラとなる場合や、塗膜として必要な強度が確保されない場合があります。
- ・ファブリックシートなど撥水防汚コートしている場合、抗ウイルス剤の固着性が低下し、抗ウイルス機能の持続性が低下する場合があります。
- ・施工後は汚れ等を柔らかい乾いた布で乾拭きをすることは可能ですが、強くこすったりするのは避けてください。摩擦により耐久性が低下する可能性があります。
- ・誤飲や誤使用を避けるため、使用後は小児や認知症の方の手の届かない所に保管してください。
- ・他の容器には詰め替えないでください。
- ・他の商品や水道水とは混合しないでください。
- ・内容物を破棄する場合は各自自治体のルールに従ってください。
- ・製品安全データシートをよく読んで取り扱ってください。

※塗装条件、環境などにより、塗膜の本来の耐久性能が十分に発揮されない場合があります。
 ※本製品は感染予防を保証するものではありません。すべての菌やウイルスに対して効果が認められているものではありません。
 ※記載データ、数値等は、信頼に定る内外の技術情報および細心の注意を払って行った試験に基づくものであり、保証値ではありません。
 また、記載データ、数値等は製品の改良により、予告なしに変更または更新することがあります

安全衛生上の注意事項

横倒禁止

[PROTECTON® カーインテリア VKコート]

1. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行うこと。
2. 本来の用途以外に使用しないこと。
3. 口をすすぐこと。
4. 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
5. 容器からこぼれた時は、砂などを散布した後処理すること。
6. 施錠して保管すること。
7. 直射日光や水濡れは厳禁。
8. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
9. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

警告	危険有害性情報
	引火性液体及び蒸気 強い眼刺激 臓器の障害のおそれ 長期にわたる、又は反復曝露による 臓器の障害のおそれ

日本ペイント・オートモーティブコーティングス

〒573-1153 大阪府枚方市招提大谷2-14-1
 ☎ 072-857-5530(代)

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2022 Nippon Paint Automotive Coatings Co., Ltd. All rights reserved.

カタログNo.

NP-Z136

BD220201T

2022年2月現在